

らくらく大腸・胃がんリスク検診

便潜血検査（便中ヘモグロビン、便中トランスフェリン）、大腸がんリスク検査の
コリバクチン産生菌検査と、胃がんリスク検査の ABC 健診が入ったコース。

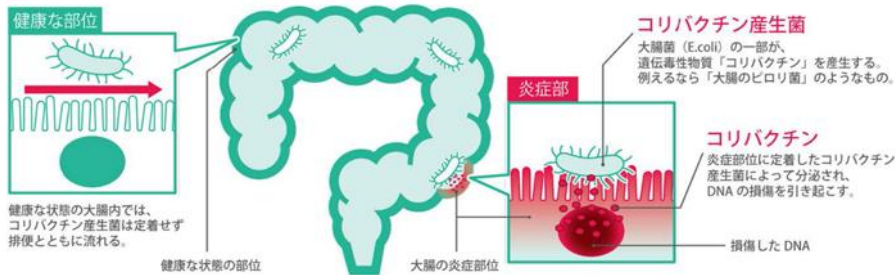
① 従来の便中ヘモグロビン検査と、新しいトランスフェリン検査

ヘモグロビンは温度の高さや時間の経過によって、大腸内の細菌により分解
され検査結果は陰性となる。トランスフェリンの含有量はヘモグロビンより少ない
が、便の細菌などの影響を受けにくく安定している（上部消化管の出血にも反
応）。便秘や、採取後の時間経過の影響を受けにくいいため、偽陰性の回避に
有効である。

② コリバクチン検査（大腸がんリスク検査）

コリバクチン産生菌（大腸菌の一種）がいると大腸で炎症が起きた際にコ
リバクチンを分泌し DNA の損傷を引き起こし、細胞ががん化する可能性が
増加する。大腸がん患者の約 70%が陽性となるため、大腸がんのリスクを知
ることができる。

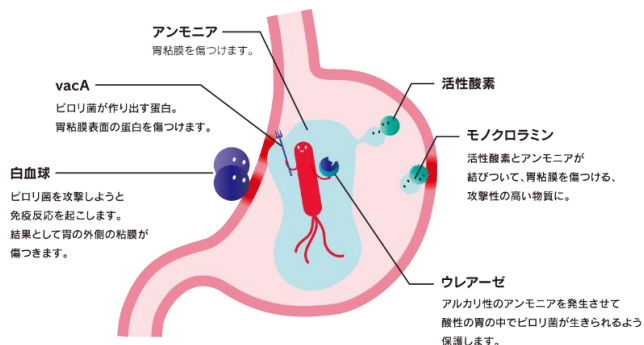
コリバクチン産生菌による大腸がん発生メカニズム



③ ABC 検診（胃がんリスク検査）

ピロリ菌感染の有無と、胃の萎縮の程度を調べることで、胃がんのリスクの
高い方を拾い上げる検査。ピロリ菌感染は、慢性的な炎症を起こし、胃粘膜が
変化するため胃がんのリスクが上がる。

ピロリ菌による胃がん発生メカニズム



桜十字病院 HP より画像を引用

【検査項目】

身体計測

身長 体重 BMI 標準体重 体脂肪率 腹囲

診察

問診 聴診 打診

血圧測定

拡張期血圧 収縮期血圧 (2回測定)

眼科検査

視力検査

聴力検査

オーディオメーター (1000 Hz 4000 Hz)

心電図検査

安静時 12誘導

呼吸器検査

胸部レントゲン検査

腹部超音波検査

肝臓 胆のう 腎臓 膵臓 脾臓

尿検査

蛋白 糖 ウロビリノーゲン ケトン体

潜血 pH ビリルビン 比重

血液一般

赤血球 白血球 ヘモグロビン ヘマトクリット

血小板 MCV MCH MCHC 血清鉄

脂質代謝

HDL コレステロール LDL コレステロール

中性脂肪

肝機能

GOT GPT γ -GTP ALP LDH

総ビリルビン A/G 比 アルブミン 総蛋白

膵機能

血清アミラーゼ

糖代謝

空腹時血糖 HbA1c

腎機能

尿素窒素 クレアチニン e-GFR

尿酸

尿酸代謝

血液学検査

RF CRP

大腸検査

①便潜血検査（ヘモグロビン、トランスフェリン）

②コリバクチン産生菌検査

胃部検査

③ABC 検診（ピロリ菌抗体 ペプシノーゲン）

健診センター 栄エンゼルクリニック

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 5 丁目 4-12

TEL 052-238-0323 FAX 052-238-0313